

よめよめグラフィック

名前

都築 良仁

★読んだ本について書いてみよう。

ひ	つ
日	付
25	8
日	月

ペー	すう
ジ	数
2	6
8	8

①本の題名

十二番目の天使

②本の作者

オグ・マンディーノ 著 坂本貢一 訳

③私のおすすめの本を、紹介します。

この本は、私がお世話になって美容師さんに薦められて読みました。絶対に泣けるから読んでみて欲しいということでした。早速インターネットで古本を検索すると、なんと1円。迷わず購入して読みました。

若くしてビジネス界で成功したジョン・ハーディングは、会社の経営を任されることを期に故郷に移り住むことになった。町の人たちから祝福されるのも束の間、妻と息子を交通事故で失ってしまう。ジョンは、悲しみのどん底に落ち、自殺を決意する。そんなとき、友人のビルがジョンに少年野球チームのエンジェルの監督になる話を持ちかける。エンジェルの監督になったジョンは、そこでティモシー・ノーブルに出会う。ティモシーは11歳の少年で、野球が大好きだが、プレイはリーグで一番下手。ジョンがエンジェルの選手を選ぶときに、最後に選んだ十二番目の選手だった。彼のポジティブさがチームをまとめ、そしてジョンを変える。

物語の中でのティモシーの口癖が「毎日、毎日、あらゆる面で、僕はどんどん良くなっている!」「あきらめるな!絶対、絶対、絶対、あきらめるな!」です。彼がそう言い続けたのは、野球に対して以外にもうひとつ理由があります。これは本を読んでみて下さい。

この少年の一生懸命さに感動します。どんなに失敗して、みんなに馬鹿にされても、常に前向き。その前向きさが、彼の周りを変えていきます。

「思考は現実化する」、「強く思い続けたいことは成立する」と言われています。すべては、「自分の思い」次第。自分が「やろう」と思わないことは、人間、絶対できません。どうやって「自分の思い」と「現実の課題」を一致させていくか。それらを一致させるためには、もっと自身について考えなければならぬと思います。「やらなければいけない」ということは分かっているのですから。

ぜひ、読んでみてください。